

## 第1学年 未来そうぞう科学習指導案

1-3 川俣 尚之

## 1. 単元名 B領域「あこがれのヒーロー～になりたい・みつける・まねる・なってみせる～」

## 2. 研究主題

## 未来を「そうぞう」する子どもを育成するためのカリキュラム開発

## (1) 単元について

1年生の子どもたちは対面式や友だちタイム(縦割り活動)、2年生の学校案内において、やさしくしてくれる異学年の子どもたちとたくさん出会ってきた。しかし、1年生という立場であるが故に「教えてもらう」場面や「やさしくしてもらう」場面が多い。また、同じクラスの子も同士では、互いにやさしく接する場面も見られるが、自分たちよりも年齢が下の子どもたちに対して、どのように関わりをもつことができるのかを考える機会は極端に少ないと考える。

本単元では、幼稚園の子どもたちがあこがれるヒーローになるために、異学年の中に様々なヒーローを見つけながら自分なりのヒーロー像にせまる活動を通して、ペアとなる幼稚園の子どもたちに対して自分なりの思いや願いをもち、人と関わることへの楽しさを見つける力を育成することがねらいである。

1年生は幼稚園の子ども(年小)との交流をきっかけに「幼稚園の子どもたちにあこがられるヒーローに【になりたい】!」と決意し、校種種の枠組みをこえて様々な異学年と交流していく。自分たちが遊びたいものに付き合っ遊んでくれる6年生や様々な場面で交流することが多い2年生と関わる中で、今の自分が考えるあこがれのヒーロー像を【みつける】。そして見つけたヒーロー像を【まねる】場として、幼稚園の子どもたちと、遊びを通して交流していく。この活動を継続的に繰り返すことで、初めにイメージしたあこがれのヒーロー像が更新され続け、2年生に向けて【なってみせる】ヒーロー像をクリエイトしていく。

## (2) 単元の目標

## 【そうぞう的实践力】

・ 違う立場の他者と関わりを通して、あこがれのヒーロー像を広げ、深めることができる。

## 【主体的実践力】

## 【協働的实践力】

・ 違う立場の他者に合わせて、遊びや活動を考えることができる。  
・ 一人ではなく、他者と共に活動することを楽しむことができる。

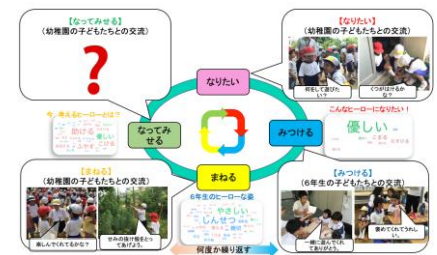
## (3) そうぞう的实践力を高める手立て

## ① 学びのプロセス

幼稚園児との交流をきっかけとして、6年生をはじめとした異学年とかかわり、自分のヒーロー像を見つけ、真似ていくサイクルを繰り返す。交流を経る中で、様々な人と意図的に関わることであこがれのヒーローに「になりたい」、「なってみせる」という課題意識を高めることができる。

## ② 対話型評価

幼稚園の子との交流において、幼稚園の子の反応や言葉を大切に振り返ることで、自分だけが楽しむ姿から自分もペアの幼稚園の子も楽しむ姿へ変容することができると思う。顔つきのネームプレートなどを用いて、幼稚園の子気持ちを可視化できるように工夫していく。



3. 指導計画 (全 31 時間 本時 24 時間目)

学習活動	子どもの意識 問題意識	学びの プロセス	イメージ力 考えてみる	クリエイトカ やってみる	レジリエンス 最後までやり抜く
1. 対面式①	全学年との対面 みんな、やさしいな。 2年生から朝顔の種をもらったよ。 6年生と一緒に手をつないでくれた。	なりたい			
2. 学校探検①	2年生との交流 学校のことをもっと知りたいな。 学校の地図をもらってうれしかったな	みつける			
3. 学校案内①	幼稚園 (年少さん) との交流 2年生みたいに、年少さんに自分たちも何かしてあげられないかな。 学校案内は上手にできたけど、自分たちの好きな遊びをしてしまったな。	まねる	★2年生に学校探検をしてもらった過去の経験をもとに考えている。 ☆「年少の子どもたちにもどんなことをしたいか」を発問する。	★幼稚園の子どもに対して、どのように接していたのか、写真や動画で振り返る。 ☆写真・動画 ☆活動に没頭している様子や幼稚園の子にやさしくしている姿を価値づける。	
4. 小学校で全体遊び①	幼稚園 (年長さん) との交流 もっとたくさん遊んでみたいな。		★活動の写真や動画をもとに、現在の自分たちの課題を見出す。 ☆ワークシート		★これまでの経験から「あこがれのヒーロー像」を想起する。 ☆ワークシート goggle フォーム テキストマイニング
自分も交流する相手と一緒に楽しむことができるにはどうすればいいかな？					
5. これまでの活動のふりかえりと6年生へのビデオレター②	未来タイム やさしい人を探しています。一緒にダンスをしてください。 困った時に助けてくれる人を探しています。カン蹴りを一緒にしましょう。	なりたい	★自分たちが楽しむ遊びを考える。 ☆ワークシート	★6年生に対して、ビデオレターで①自分の「あこがれのヒーロー像」②やりたい遊びを伝える。 ☆ビデオレター (動画)	
6. 6年生と一緒に遊ぶ。①	6年生との交流 あこがれのヒーローは活動中にアドバイスをしてくれる人です。	みつける		★6年生と共に楽しく活動している。 ☆写真・動画	★これまでの経験から「あこがれのヒーロー像」を更新する。 ☆ワークシート goggle フォーム テキストマイニング
7. 幼稚園で自由に遊ぶ。①	幼稚園 (年長さん) との交流 名前を覚えるくらい仲良くなったよ。 困っている子を助けることができた。	まねる		★幼稚園の子と共に楽しく活動している。 ☆写真・動画	★これまでの経験から「あこがれのヒーロー像」を更新する。 ☆ワークシート goggle フォーム テキストマイニング
8. 平野魔法学校へ入学	1・2年生 運動会 名前を覚えるくらい仲良くなったよ。	みつける	★幼稚園の子たちに何をしてあげるかをイメージする。 ☆写真・動画	★様々な活動を通して、「あこがれのヒーロー」を見つける。 ☆行動・ワークシート	
9. 2年生の秋祭りへ招待される。①	2年生との交流 幼稚園の子に秋祭りをしてあげたい。				
10. 友タイスポーツチャレンジ③	全学年 友だちタイム 5年生がやさしく教えてくれたよ。				

<p>11. 2日間の幼稚園の子どもたちとの交流の計画・下見① <b>未来タイム</b></p> <p>①インタビュー（幼稚園の子どもがしたこと、好きな遊び など） ②幼稚園や小学校での遊びの計画 ③名札のプレゼント ④幼稚園の下見 など</p> <p>紙芝居を作ってみたよ。喜ぶかな。</p> <p>12. 幼稚園，小学校で交流② <b>幼稚園（年長さん）との交流</b></p> <p>・幼稚園でペアの子にインタビューをしてからやりたい遊びを一緒にする。</p>	<p><b>なりたい</b></p> <p><b>まねる</b></p>	<p>★幼稚園で何を下見するかを考える。 ☆ワークシート</p> <p>★ペアを見つける方法をイメージする。 ☆板書</p>	<p>★幼稚園で流行りの遊びを調べたり，幼稚園の子たちと<b>一緒に</b>遊んだりする。 ☆行動・写真・動画</p> <p>★幼稚園の子とペアになり，インタビューをしたり，<b>仲良く</b>したりして遊ぶ。 ☆行動・写真・動画</p>	
<p>ペアの子ともっと仲良くなるにはどうすればいい？</p>				
<p>・小学校でペアの子と一緒に遊ぶ。</p> <p>もっと遊ぶ時間が欲しいな。</p> <p>13. ペアの子ともっと仲良くなれたかについて，振り返る。① <b>未来タイム</b></p> <p>自分も交流する相手も一緒に楽しむことができるにはどうすればいいかな？</p>	<p><b>なりたい</b></p>	<p>★写真や動画をもっと仲良くなるには，どのようにすればいいかを具体的にイメージする。 ☆板書・行動</p>	<p>★幼稚園のペアの子と共に<b>楽しく</b>活動している。 ☆行動・写真・動画</p>	<p>★これまでの経験から「<b>あこがれのヒーロー像</b>」を更新する。 ☆ワークシート postit アプリ®</p>
<p>14. 幼稚園，小学校で交流② <b>幼稚園（年長さん）との交流</b></p> <p>・幼稚園でペアの子と一緒に遊ぶ。</p> <p>久しぶりに会えてうれしいな。</p> <p>・小学校でペアの子と一緒に遊ぶ。</p> <p>どっちも楽しくなる遊びは何だろう。</p>	<p><b>まねる</b></p>	<p>★共に活動する遊びをどのように工夫するかを考える。 ☆ワークシート</p>	<p>★自分たちが考えた遊びを通して，幼稚園のペアの子と共に<b>楽しく</b>活動している。 ☆行動・写真・動画</p>	
<p>15. 幼稚園の子どもとの遊び方について，考える。② <b>未来タイム</b></p> <p>これまで遊んできたことを振り返ろう</p>	<p><b>なりたい</b></p>	<p>★これまでの活動を振り返り，自分自身を捉え直す。 ☆行動・写真・動画</p>	<p>★自分たちが考えた遊びを通して，幼稚園のペアの子と共に<b>楽しく</b>活動している。 ☆行動・写真・動画</p>	
<p>16. 幼稚園，小学校で交流② <b>幼稚園（年長さん）との交流</b></p> <p>・幼稚園でペアの子と一緒に遊ぶ。</p> <p>やっぱり、ボール遊びが好きなんだ。</p> <p>・小学校で自分たちが考えた遊びを提案（本時）</p> <p>ペアの子が楽しんでくれるかな。</p>	<p><b>まねる</b></p>	<p>★活動に向けて，<b>役割分担</b>をしながら，計画を立てる。 ☆ワークシート</p>	<p>★入学する子どもたちのために，共に活動することを<b>楽しんで</b>いる。 ☆☆行動・写真・動画</p>	<p>★これまでの経験から「<b>あこがれのヒーロー像</b>」を更新する。 ☆ワークシート postit アプリ®</p>
<p>17. これまでの活動から「ヒーローの自分」とはどんな人であるかを考える。①</p> <p>18. 入学してくる1年生に何をあげるといいかを考える。② →学校案内</p> <p>19. やってみる。②</p> <p>20. 入学式でのお迎え会での活動について考える。②</p>	<p><b>なってみせる</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p>★活動に向けて，<b>役割分担</b>をしながら，計画を立てる。 ☆ワークシート</p>	<p>★入学する子どもたちのために，共に活動することを<b>楽しんで</b>いる。 ☆☆行動・写真・動画</p>	<p>★これまでの経験から「<b>あこがれのヒーロー像</b>」を更新する。 ☆ワークシート postit アプリ®</p>

#### 4. 本時の目標

自分たちが計画した遊びや活動を通して、自分だけでなく、幼稚園の子たちも楽しむことができる。  
(協働の実践力)

#### 5. 本時の展開

活動内容	子どもの意識の連続性	評価 (○) と支援 (◆)
①自分自身の活動のめあてや活動を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">友だちタイムでやった紙コップタワーをつくってみたい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">幼稚園で流行っていた中あてドッジを進化させたよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">タイヤとびの遊びを工夫したよ。ペアの子たちとやってみたいな。</div>	◆モジュールの時間にそれぞれのめあてを黒板に掲示しておく。 ◆小集団になれるような遊びを検討しておく。
<b>自分たちが考えた遊びで、自分もペアの子も楽しむことができるか。</b>		
②幼稚園の子どもたちと対面して、それぞれの場所へ移動し、活動する。  ③ 活動について振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">幼稚園の子ども</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園の子が楽しめたか。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">小学校の子ども</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューする。</li> </ul> ④ 写真や動画で振り返る。  ⑤ 幼稚園の武藤先生から、幼稚園の子どもたちの様子について、お話をさせていただく。  ⑥ 自分の「ヒーロー」の姿について振り返る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">幼稚園の子たちが紙コップを上の方まで積むのは難しそうだ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">上の方は1年生がやってみるといいかもしれない。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">中あてドッジのルールを変えてやってみよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">やっぱり、チームによって差があるな。工夫できないかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">チーム分けを工夫してみよう。ハンデがあってもいいかもしれない。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">幼稚園の子はタイヤを飛ばすのは難しいからどうしよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">下を潜るのはどうかな。一回やってみよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">紙コップをしていた○○ちゃんのが笑顔がニコニコだった。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「中あてドッジはまたやってみようと思う？」</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「楽しくなかったのはどうしてかな？」</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">よかったところは、幼稚園の子たちが楽しむことができる遊びを工夫していたところでした。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">もうひと頑張りだったところは、幼稚園の子たちがやりたいことをもっと聞いてほしいと思います。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">私のなりたいヒーローは優しい人だったので、今日の活動でもっとやさしくなれました。</div>	◆幼稚園の子たちを向かい入れ、休みやペアがいないかを確認する。 ○ペアの子といっしょに楽しく活動している。  ◆活動中の様子を写真や動画で撮りためておく。  ◆幼稚園の子が「今日の活動が楽しかったか」を可視化できるように顔つきのネームプレートを用意する。 ○幼稚園の子の反応を見ながら、ペアの子が楽しんでいたかを調べている。  ◆写真や動画で価値づける。  ◆活動中、よかった点と課題点について、それぞれ話してもらう。  ◆「あなたたちはヒーローになりましたか。」と問い、ヒーロー像を更新していく。